



大阪日々新聞紙

第十号

武藏八王寺宿之日野駅の間で原を掠ぐ

人力車曳と原の央の茶店の王と馴合ひ往來の人を

車に乗せたり引たり追廻追落しを斤年業とし

或日旅人の大金を取り去るを其場にて茶

店の亭主の悪心倍増し人力車夫を切害し

死骸の仕舞を又外より分民の金を運ると

云々西人少と埋め此人力車夫を生を置き

一大事と心の渡茶林大付る金の地を

修羅聚湯又赤殺し此上り早ふ

あつてのやうしと金銭を掠取掠え

逃る足元薄氷を踏破する

天網は形影更目へ逃るべき瞬

ちも縛は付ると云々

人力のあつて千里も

やれと云ふ所の深ん

きぬかありと云々

文庫少人編

文庫少人編

文庫少人編

文庫少人編

文庫少人編

文庫少人編

文庫少人編

文庫少人編